

事業所名

発達支援室ぼこ・あ・ぼこ

支援プログラム

作成日

令和6年

11月

15日

法人（事業所）理念		一人ひとりの個性を大切に、丁寧できめ細やかな支援を提供する。					
支援方針		保育士による小集団療育と、言語聴覚士による個別訓練を行う。コミュニケーションの基礎づくりから集団活動まで、多職種で連携しお子様の発達のサポートを行うとともに、保護者やご家族の方が気軽に相談できる窓口としての役割を担う。					
営業時間		9時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康状態を確認しながら支援を行う。子どもたちが心身ともにリラックスできる快適で心地よい環境づくりを行う。					
	運動・感覚	感覚に働きかける遊びを活動に取り入れ、様々な刺激入力や経験を積み重ねることで心身の成長発達を促す。					
	認知・行動	始まりの会、帰りの会、小集団活動を繰り返し行うことで汎化していけるように支援を行う。スケジュールについては絵カードや写真などを活用し視覚支援を行う。活動の切り替えの際には事前予告を行うことで子ども達が落ち着いて活動に参加できるよう配慮を行う。					
	言語 コミュニケーション	言語聴覚士が介入し、コミュニケーションの基礎作りから丁寧に関わる。一人ひとりの発達段階や特性に応じ、非言語コミュニケーション手段も活用しながら音声や言語をコミュニケーションツールとして活用できる事を目標に訓練を実施する。					
	人間関係 社会性	職員を1対1で配置し、丁寧に信頼関係を築いていく。集団活動ではお友達を意識できる活動を取り入れ、小集団の中で少しずつルールや社会性を身につけられる様に支援を行う。					
家族支援		少なくとも月に一度は保護者の方との懇談の機会を設ける。			移行支援	ご家族への情報提供を行う。他事業所や関係機関との連携を行う。	
地域支援・地域連携		地域との交流や関係機関と連携をとり、ご家族の方がその地域で安心して楽しく子育てができるよう支援を行う。			職員の質の向上	週に一度カンファレンスを実施する。専門職による研修を積極的に実施する。適宜、日々の反省点や改善点、気づきなどがあれば話し合いの場を設け、より良い支援が行えるように自己研鑽に励む。	
主な行事等		お誕生日会、お散歩、豆まき、ひな祭り、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会					